

海洋生物 多様性分野

発生・進化・生態の
観点から海洋生物の
多様性を理解する

浅虫周辺に生息する多様な海産動物を研究対象として、初期発生、形態形成、細胞分化などの様々な個体発生現象のメカニズムを研究しています。また、様々な動物の発生メカニズムの比較から、動物の多様性の起源と進化について研究しています。さらに、環境、特に海流や潮汐リズムと生態分布、共生や被食・捕食などの生物間相互作用の解析を通して、生物の適応放散や個体群の維持機構、生物群集の成立機構などについて研究を進めています。

Lab. DATA

発生生物学、比較発生学、生態行動学、海洋生物
熊野岳 教授
美濃川拓哉 准教授
武田哲 助教
中本章貴 助教

<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/index.html>

topics



実験に使う海洋生物は浅虫周辺で採集し、写真に示すセンター内の水槽室等で飼育しています。ホヤ、ウニ、ギボシムシ、ホウキムシ、巻貝、二枚貝、クマムシなどがあります。

在学生 Interview



博士3年
タオ ジェン

私は浅虫海洋生物学教育研究センターに入学した後、ホヤ胚の初期生殖細胞形成機構を勉強しています。この二年間の特別な感想は、綺麗な自然がある浅虫で、優しく、寛容で、学生の成長と生活に関心を持っている先生と研究に専念するのが、好奇心が満たされ、とても楽しいです。